

乙訓高校「学びの流儀」第1講 国語科公開講座

出口 汪氏 講演会

「論理的思考力養成法」が開催されました。

平成23年6月3日（金）に全校生徒・保護者・教育関係者を対象に、乙訓高校「学びの流儀」第1講として、出口 汪（でぐち ひろし）先生に講演いただきました。

出口先生は、「現代文は論理的な科目であり、すべての教科の基本である」と説き、日本語の文章読解学習をシステム化した「論理エンジン」の開発・普及に努めておられます。

「論理的思考力養成法」というテーマで、先生の学生時代の話や、現代文は論理的な科目であり、自分流の解釈で文章を読んではいけないこと。人と話すときに筋道を立てて、相手が理解しやすいように話をすることが論理的思考力を鍛える方法のひとつであること。論理的思考力は、国語だけに使えるものではなく、全教科につかる力であること。君たちが変われば、先生も変わり、授業がより素晴らしいものになること。成功している人たちは、若い頃に何かをしぬほどやっているということなどを話されました。

乙訓高校の生徒たちに対して、「君たち高校生には勉強するチャンスが目の前に転がっている。この機会を活かし、希望の進路を実現して、素晴らしい人生を送ってもらいたい。」と話され、生徒たちはいい刺激を受け、学習への意欲が高まっていた様子でした。

質疑応答では、「論理」と「理論」の違いは何か。筋道を立てて話すとは、具体的にどうすればよいのか。などを質問し、出口先生は丁寧に、熱心に答えてくださいました。乙訓高校「学びの流儀」の主旨である「生徒のモチベーションアップを図るなかで、学習に対する前向きな姿勢を涵養する取組み」の通り、素晴らしい講演会となりました。

